

2016年6月13日

あおぞら投信株式会社

『悪い時 我慢しつつも 明日を見る』

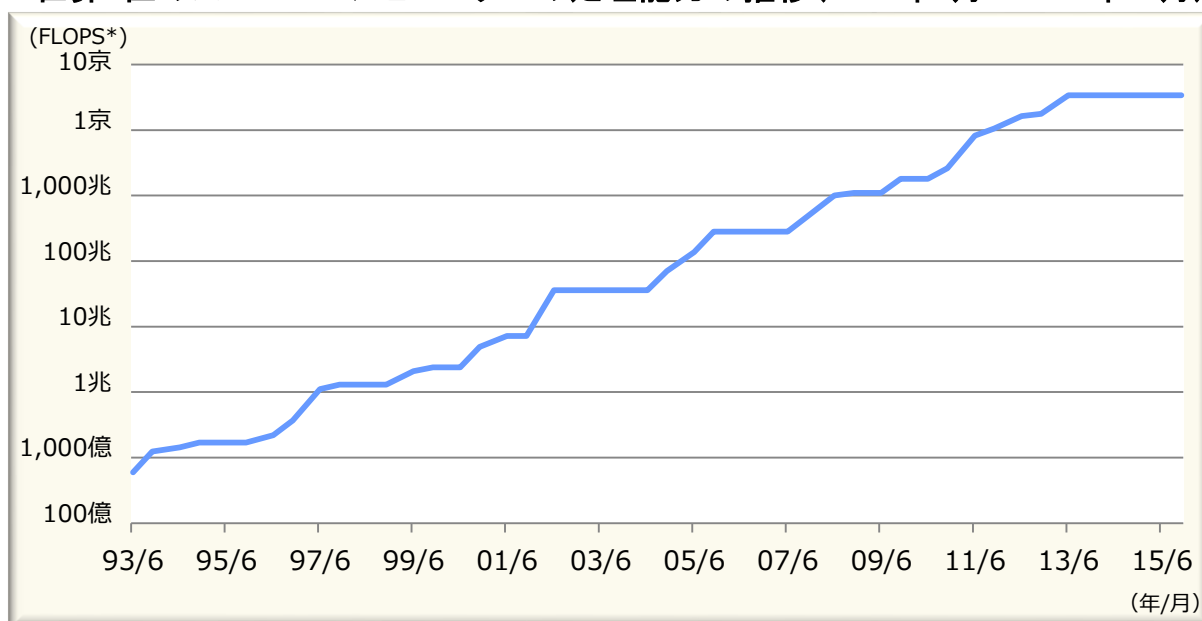
一喜一憂 預かる力を』

「投資において最も重要な言葉は『bad times(悪環境期)』である」で始まる『資産運用の本質』(参考)に述べられている通り、まず投資家が求めていることは最悪環境での下方リスクの明確化であり、それに対応するための最適ポートフォリオ構築なのです。どのように環境が悪い時を乗り越えて、その結果として残りの期間でプラスを得られることが分かれば、投資は成功へと繋がるのです。

今や投資の世界にもロボットやAI(artificial intelligence: 人工知能)が活用され始めています。AIの強みはデータ処理能力の高さです。すなわち、歴史から学ぶことにかけては既に人間の脳を越えている部分があるということです。これを投資の世界に応用すれば、過去の分析を積上げることで想定されるリスクを把握し、それに対応するであろうポートフォリオ(資産)構築を行えば良いということになります。ここで問題はというと、現実にかかることは過去と似ていることはあっても過去とは異なるということです。当然ながら世界中の投資家のお金の量も質も変化しますし、そもそも投資の担当者が変わることもあるわけで、その人の判断が過去の人と全く同じであるとは限りません。このように、変化を必然としている世の中で、資産を運用し最悪を乗り越えていくことで信頼を得る、それが資産運用業に課せられている宿命です。いかに最大限の分析能力を活用しつつ、最後には人の眼で見て判断することが重要であると考えます。

(参考:『資産運用の本質 ファクター投資への体系的アプローチ』アンドリュー・アング著 2016年金融財政事情研究会)

世界1位のスーパーコンピューターの処理能力の推移(1993年6月～2015年11月)



*FLOPS (フロップス) : コンピュータの処理能力の単位で、1秒間に実行できる浮動小数点数演算の回数。
※グラフは対数を用いて表示しています。

出所: TOP500 (世界で最も高速なコンピュータシステムの上位500位までを毎年2回にランク付けし、評価するプロジェクト)

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>